

「関内・関外地区活性化ビジョン（素案）」について
市民の皆さまからのご意見の内容とご意見に対する横浜市の考え方

○「関内・関外地区活性化ビジョン（素案）」における市民意見

募集期間：令和2年1月27日（月）～令和2年2月28日（金）

意見提出者数：35名

○主なご意見

お寄せいただいた主なご意見については、以下の表をご覧ください。

視点	内容
居住者 （11件）	・賑わいというけれど地区内には住民もいる。 ・居住者の視点も欠かすことはできない。
賑わい・活力づくり （6件）	・文化面で日本・世界をリードしていくよう取り組んでいくべき。
土地利用 （7件）	・関内の業務エリアは、敷地を共同化しながら再整備が必要。 ・山下ふ頭周辺地区の再開発がもたらす経済効果に期待している。
まちの回遊性 （7件）	・回遊性を高めるには、トイレやサイン表示なども大切だと思う。 ・回遊性を高める取組について商店街とも連携して考えていく事が必要。
公共空間の利活用 （4件）	・運河の防災面での活用は良いと思う。 ・歩道を広くすると自転車のスピードを出す人が出てくる。そうしたことも頭に入れて歩行者空間の充実を検討してほしい。
安全・安心 （10件）	・活性化の取組により、昼夜問わず多くの人の滞在が予想されるため、災害発生時などに多くの人々の安全と安心を確保する必要がある。 ・多くの人々が集まるので、消防署、警察関係の施設の増設を望む。

○お寄せいただいたご意見と横浜市の見解

お寄せいただいたご意見と横浜市の見解については次ページ以降をご覧ください。

35名からお寄せいただいたご意見を、「関内・関外地区活性化ビジョン（素案）」に関するまちづくりの視点ごとに分類（45件）し整理しました。

なお、分類したご意見は、まちづくりの視点ごと、原則、提出された順に原文のまま掲載（一部の意見は要約）しています。

No.	視点	ご意見	ご意見に対する横浜市の見解
1	居住者	・外国人居住者との関係が難しくなっている。マンション丸ごと中国人がすんでいるものもある。商店街のオーナーも外国人。南吉田小は6割超、日枝小は2割の親が外国人。	いただいた居住者の視点に関するご意見を踏まえて、関内・関外地区活性化ビジョンを作成しました。今後、当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。
2	居住者	・賑わいというけど地区内には住民もいる。文体までいろいろ整備するのに、道路の不備を要望しても文体から先は手をつけてくれない。	いただいた居住者の視点に関するご意見を踏まえて、関内・関外地区活性化ビジョンを作成しました。今後、当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。
3	居住者	・以前は、協議会的組織に町内会も参加していたと思うが、今後は町内会も協議会に参加させるといった考えはないのか。やはり居住者の視点も欠かすことはできない。	いただいた居住者の視点に関するご意見を踏まえて、関内・関外地区活性化ビジョンを作成しました。今後、当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。
4	居住者	・出された意見をしっかり受け止めなければならない。	いただいた居住者の視点に関するご意見を踏まえて、関内・関外地区活性化ビジョンを作成しました。今後、当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。
5	居住者	・関内には図書館がなく保育園もありません。ビジネス・観光に特化し偏ったものになっています。バランスを考え、生活面の補強が必要かと。歩道が狭く、休むベンチも有るにはあるものの集中しており、分散させてほしいです。	いただきましたご意見については、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。
6	居住者	・寿地区にマンションが建つと、他の地域に人が流れてくることを、寿東部では気にしている。「市役所は（庁舎移転により、こうした地域から）逃げた」とみんな思っている。	いただいた居住者の視点に関するご意見を踏まえて、関内・関外地区活性化ビジョンを作成しました。今後、当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。
7	居住者	・横浜橋通は実態は中国人の町になってきている。商店街の店舗もオーナーが手放せば、中国人が購入する。中華街のように歴史を重ねてきているわけではなく、ここ数年で一気に増えてきている。	いただいた居住者の視点に関するご意見を踏まえて、関内・関外地区活性化ビジョンを作成しました。今後、当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。
8	居住者	・自分の町域では外国人が20%以上を占めているが、こうした街に対する青写真を市は持っているのか。外国人の居住制限をすべきだ。外国人にとって住みやすいと言っているが、日本人が住みにくくなっている。時間はかかる施策だと思うが、居住制限を導入してほしい。	いただいた居住者の視点に関するご意見を踏まえて、関内・関外地区活性化ビジョンを作成しました。今後、当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。
9	居住者	・よく「横浜が『住みやすいまちベストスリー』に入った」などという記事を見るが、こういった視点から評価されているのか。今回策定するビジョンには、居住性の視点が入っているのか。	いただいた居住者の視点に関するご意見を踏まえて、関内・関外地区活性化ビジョンを作成しました。今後、当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。
10	居住者	・このビジョンに書かれていることは、このまちから見るとまるでおとぎ話だ。住民から見ると実態から乖離している。	いただいた居住者の視点に関するご意見を踏まえて、関内・関外地区活性化ビジョンを作成しました。今後、当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。
11	居住者	・急激に外国人が増えてきてから後追いでしか対応しない市の姿勢が問題だ。なる前から対策をしなければならぬのに。地域としてはたまったものではない。日本や地域の生活ルール・マナーに従わない人をなんとかしてほしい。	いただいた居住者の視点に関するご意見を踏まえて、関内・関外地区活性化ビジョンを作成しました。今後、当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。
12	賑わい・活力づくり	・近年はみなとみらいに大企業の進出が相次いでいるが、そのような一極集中は良くないと思う。関内・関外地区はそれをどのように捉えているのか？	関内・関外地区では、当該ビジョン本編p.61に記載のように、ベンチャー企業成長支援拠点を開設し、国内外からベンチャー企業や起業家を呼び込み、横浜発の新ビジネスを創出し、多くのイノベーションが生み出される先進的なビジネスエリアを目指すとともに、他都市や横浜都心臨海部の他地区との差別化を図っていく取組を推進していきます。
13	賑わい・活力づくり	・横浜は他の政令市と比べて来街者を呼び込めているのか。住むには良いかも知れないが、やはり活力が必要だと思う。	関内・関外地区では、今後、当該ビジョン本編p.60「持続的な賑わいと活力づくり」の方針に基づき、これまで以上に新たな賑わいと活力づくりに、地域・事業者・行政等が連携して取り組んでいきます。
14	賑わい・活力づくり	・ビジョンを策定すること自体は素晴らしいと思う。市長も「横浜にはお客様を呼べるものが少ない」と言っていた。住む都市づくりとお客様を呼ぶ都市づくりの両方が必要だ。このビジョンでは、行政だけでなく民間が取り組む内容も含まれているのか。港が開いた時は、横浜は財政面・文化面で日本・世界をリードしていた。今日となり、財政面でのリードはできないが、文化面についてはリードできるのではないかと考えている。	当該ビジョンは、地域・事業者・行政等が市庁舎移転後の関内・関外地区の活性化に取り組むにあたり共有すべき方向性を、関内・関外地区活性化協議会と横浜市がとりまとめたものであり、民間事業者様が主体的に推進されることを想定した内容も含まれます。 また、文化面についても、当該ビジョン本編p.60「持続的な賑わいと活力づくり」の方針に基づき、文化芸術創造都市の推進を地区として取り組んでいきます。
15	賑わい・活力づくり	・横浜文化を作る「衣・食・住」のうち、衣の部分がどこのエリアも弱いように感じています。都内でいう原宿・澁谷のような服・ファッションが好きな横浜市民の老若男女が集うエリアを作り、活性化に繋げていく。 ●前提：地元の服飾店の連携SHOPカード（アプリ）を作って、店頭でもWebでも購入できる環境を市・区にて提供して、売り易い機会（TPOの「O」）を支援してもらおう点を協力頂きたいです。	いただきましたご意見については、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。
16	賑わい・活力づくり	・伊勢佐木町を再び以前のような個性ある店舗の町へ、中規模程度のデパートの誘致を！以前の伊勢佐木町を知る人達は同じ思いを持っています。	いただきましたご意見については、関係部署に共有し、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。

No.	視点	ご意見	ご意見に対する横浜市の見解
17	賑わい・活カづくり	<p>・横浜の歴史を鎖国時代にさか登って考える時、1800年代頃からのロシアの南下が黒船来航、阿片戦争等によりずっと前に始まり、最終的には1853年のペリー艦隊浦賀到着で大変幸運にも翌年の和親条約、下田開港となり、プチャーチンがその1854年に下田に来て日露和親条約を結んだ由、大地震・大津波でその乗船2,400トンの艦隊が沈没し、幕藩命令で生存者帰国の舟を造った由、プチャーチンの来航が1年遅れで我が国はその国難を逃れることが出来ました。</p> <p>生麦事件や井土ヶ谷事件、外人墓地等は、我が国の開国、その後の震災戦災等を、マクロに見て日本開国史料館（仮称）等の建設、周知を是非して下さい。</p>	<p>いただきましたご意見については、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
18	土地利用	<p>・関内の業務エリアは、敷地を共同化しながら再整備が必要。</p>	<p>いただきましたご意見については、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
19	土地利用	<p>・市役所跡地付近のイメージ図をどこかで見ましたが、市役所庁舎（現）が残されていました。あの建物は全く残す必要はないと思います。新たなビジョンの足手まといになるだけです。更地で構想をねってください。</p>	<p>現市庁舎街区につきましては、令和元年9月に事業予定者が決定しました。その提案では、行政棟をホテルとして保存活用する計画となっています。詳しくは以下の市ホームページをご参照ください。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/toshin/genshichoshagaikutou/kannaiekisyuhen.html</p>
20	土地利用	<p>・街自体がビルは小さく、道が狭い、それは街区が小さいからであり、4ブロックを1ブロックにして余裕のなる街にしようでしょうか。既存のビルもあり1つ1つ百年計画で建て替えし合わせる事で、無理なく出来るものと思われます。百年前の小商店規模の街区では無理が生じているのはたしかですので、関内関係者と協議して合意納得してもらえるよう頑張ってください。</p>	<p>いただきましたご意見については、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
21	土地利用	<p>・京急線の日ノ出町駅周辺の再開発が必要だと思います（駅舎も含め）。</p>	<p>いただきましたご意見については、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
22	土地利用	<p>・本年6月の市庁舎移転に伴い、関内地区の人の流れ（回遊性）が大きく変わるものと思われます。殊に、元町地区や山下町地区（中華街を含む）の集客力は（土日祝日を除くと）かなり落ち込むのではないかと懸念しており、周辺の不動産賃貸物件の下落も予想されます。一方、IRを含む山下ふ頭周辺地区の再開発はこれらマイナス要因をカバーするに余るほどの経済効果をもたらすものと確信しており、一刻も早く山下ふ頭周辺地区にIRが実現されることを願っています。</p>	<p>当該ビジョンに基づき、地域・事業者・行政等が連携して、市庁舎移転後の元町地区や山下町地区を含む関内・関外地区の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>また、山下ふ頭開発に関するご意見については、関係部署に共有させていただきます。</p>
23	土地利用	<p>・ビジョンには寿地区のことが何も触れられていないが、この地域では非常に気にしている。市として寿地区を今後どうしていくのかという考え方はあるのか。</p>	<p>いただきましたご意見については、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。また、地域住民や自治会・町内会とも調和を図りながらまちづくりを進めていきます。</p>
24	土地利用	<p>・地方自治法で、市民の意見に耳を貸さない市長で有る方が「カジノ」誘致表明。この表明「ウソつき市長」と成る事で（市長解職）問題です。</p> <p>・（地区活性化ビジョンは、常に明るい方向で未来を捉えより良い関係に努める事です。）</p> <p>・※今回のクルーズ船（ダイヤモンド・プリンセス）コロナウィルス感染事故（事件）</p> <p>・ピンチをチャンスにする事業の（山下ふ頭開発誘致）</p> <p>・救急医療・防災・防犯・テロなどに強い（研究大学・企業）</p> <p>・開港以来の事故（事件）世界に於いても大変重要な困り事業誘致</p> <p>・当市で価値観趣向経験有る企業・大学誘致</p> <p>・市民（安全・安心・心配の何・環境の良社会）</p> <p>・未来の子供達で夢（希望）を持つ事が出来る事業誘致</p>	<p>いただきましたご意見については、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
25	回遊性	<p>・山下公園周辺などは、週末は今でも道路が混雑する。道路渋滞の緩和策などはどう考えているのか？</p>	<p>いただきましたご意見については、関内・関外地区活性化協議会と連携し、今後、回遊性を高める基盤づくりに関する様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
26	回遊性	<p>・クルーズフレンドリープログラムやラグビーW杯イベントによる元町への外国人の来街者はあまりいなかった印象だった。街への回遊性を高める取組について商店街とも連携して考えていく事が必要。</p>	<p>いただきましたご意見については、関内・関外地区活性化協議会と連携し、今後、回遊性を高める基盤づくりに関する様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
27	回遊性	<p>・新港地区の横浜ハンマーヘッドから元町へのアクセスが良くないため、既存の交通との連携や接続バス、水上交通などの新たな取組と組み合わせ回遊性を高める取組と合わせ、回遊性を高める取組を進めるべき。</p>	<p>いただきましたご意見については、関内・関外地区活性化協議会と連携し、今後、回遊性を高める基盤づくりに関する様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
28	回遊性	<p>・回遊性を高める基盤という考え方がビジョンに書かれていることはいいと思うが、基盤は交通手段だけではない。トイレやサイン表示、休憩スペースなどの整備も合わせて検討してほしい。</p>	<p>いただきましたご意見については、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
29	回遊性	<p>・みなとみらいの道路について、横方向（栄本町線、臨港幹線）は充実しているが、縦は全然流れない。</p>	<p>いただきましたご意見については、関内・関外地区活性化協議会と連携し、今後、回遊性を高める基盤づくりに関する様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
30	回遊性	<p>・関内駅に沿っている首都高速も地下化したのはよいが、その上部が開いているから、関内と関外が分断されている。これでは吉田橋の関所があった時代と変わっていない。</p>	<p>いただきましたご意見については、関内・関外地区活性化協議会と連携し、今後、回遊性を高める基盤づくりに関する様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
31	回遊性	<p>羽衣町（下り）バス停を広くし屋根をつける。利用者が多いため。JRと地下鉄間の階段を減らす、高齢が楽に乗り替えできる通路等にする。</p>	<p>いただきましたご意見については、関係部署に共有し、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>

No.	視点	ご意見	ご意見に対する横浜市の見解
32	公共空間	・水上交通は交通手段なのか、観光手段なのか。	水上交通は回遊性を高める基盤づくりのため、総合的な水上交通の充実をビジョンに位置付けているとともに、それ自体が河川・海上など公共空間を活用した賑わいづくりに資するコンテンツでもあるものと考えています。
33	公共空間	・歩道を広くすると自転車をかっ飛ばす人が出てくる。そうしたことも頭に入れて検討してほしい。	いただきましたご意見については、関係部署と共有し、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。
34	公共空間	・運河の利用はしっかり考えてほしい。	いただきましたご意見については、関内・関外地区活性化協議会と連携し、今後、河川・海上など公共空間利活用に関する様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。
35	公共空間	・川をしっかり活用していきたい。この資料を地域で共有したい。	いただきましたご意見については、関内・関外地区活性化協議会と連携し、今後、河川・海上など公共空間利活用に関する様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。
36	安全・安心	・横浜橋通商店街は（営業中）車が通らないし、発災時は屋根がある貴重な空間として使えると思っている。商店街は半分公的な色彩を持つことから、こういうときに協力できる店づくり、商店街であることが重要だ。帰宅困難者が出たら南吉田小では足りない。横浜橋通商店街であれば、公道だから封鎖もできるし、大通り公園とも一体利用できるだろう。臨海部ばかりにお金（＝公共投資）が落ちているが、焼け出された人が来るこうした陰路についてもよく考えてほしい。	いただきましたご意見については、今後、様々な取組を進めていく上での参考にさせていただきます。
37	安全・安心	・観光客や来街者が増えると、その分、防犯のような対策を強化すべきだと思うが、どのように考えているのか？	当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、関内・関外地区活性化協議会と連携して、今後、安全・安心に関する取組を進めていく上での参考にさせていただきます。
38	安全・安心	・運河の防災面での活用は良いと思う。	当該ビジョン本編p.68「誰もが安心できる環境づくり」の方針に基づき、関内・関外地区活性化協議会と連携して、今後、安全・安心に関する取組を進めていく上での参考にさせていただきます。
39	安全・安心	・関内・関外地区を活性化するにあたり、昼夜問わず多くの人々が滞在することが予想されるため、災害発生時などに多くの人々の安全と安心を確保する必要があると考えています。そのため、地域に密着した消防団などが、訓練を実施できる防災拠点を作ってもらいたいです。観光客ももちろんですが、まずは地域住民が安心して暮らせる街づくりに期待しています。是非前向きにご検討いただくと幸いです。	いただきました消防体制の強化に関するご意見については、当該ビジョン本編p.68に記載していることから、今後、消防施策を進めていく上での参考にさせていただきます。
40	安全・安心	再開発にあたり、コメントさせていただきたくメールしました。再開発される場合には、災害や治安を維持するために、警察署、消防署の新設をしてください。また、消防団は地域の安全安心の要です。是非、再開発時には併せて、活動できる訓練場所の新設をしてください。再開発に反対はしませんが、住民が安心して住めるよう、よろしく願います。	いただきました消防体制の強化に関するご意見については、当該ビジョン本編p.68に記載していることから、今後、消防施策を進めていく上での参考にさせていただきます。
41	安全・安心	・多くの人々が集まるので、消防署、警察関係の施設（署又は交番など）の増設を望む。	いただきました消防体制の強化に関するご意見については、当該ビジョン本編p.68に記載していることから、今後、消防施策を進めていく上での参考にさせていただきます。
42	安全・安心	・山下ふ頭地区の再開発によって、昼夜問わず滞留人口が数万人規模で膨れ上がる事が予想されます。地域防災に関する取組を一層加速させ、有事対応のレベルアップを日頃から訓練や教育などを行っていく事は必要な事です。つきましては山下ふ頭地区再開発に伴い、消防団がいつでも訓練を行うことのできる施設、場所の確保をお願いします。訓練なくして有事の対応は出来ず、です。宜しくお願い致します。	いただきました消防体制の強化に関するご意見については、当該ビジョン本編p.68に記載していることから、今後、消防施策を進めていく上での参考にさせていただきます。
43	安全・安心	山下ふ頭周辺地区に、M I C E 施設、宿泊施設、エンターテインメント施設ができると、この地区周辺に数十万人規模の訪問者、滞留者が出現することになります。その経済効果はともかく、まちづくりの方針③誰もが安心できる環境づくりは、地元住民にとっても大変重要な課題であると思っています。みなとみらい21地区に未だ警察署や消防署が設置されていない事を疑問に思うのですが、山下ふ頭周辺地区の再開発（IRの実現）に際しては、消防署（消防出張所）を含む防災拠点の設置は不可欠であると思います。一たび大規模災害が発生した際は、公設消防と連携して地元消防団の災害活動も必須となりますが、消防団員が日頃実施する訓練場所は中心市街地には無いのが現状です。（戸塚の訓練センターまで出向く）従って、山下ふ頭周辺地区の防災拠点には、消防隊、消防団員が心置きなく活用できる訓練会場の設置も検討していただきたく、今後の防災・減災対策としても強く要望いたします。	いただきました消防体制の強化に関するご意見については、当該ビジョン本編p.68に記載していることから、今後、消防施策を進めていく上での参考にさせていただきます。
44	安全・安心	山下埠頭の開発にあたり、日中でも使用できる消防団が放水訓練を行える場所を、確保して欲しいと思います。中区にはこのような場所がなく、曜日や時間の制約と使用許可の取得等、場所の確保に苦慮しています。この機会に、是非消防団が優先的に使用できる場所を、作っていただきたいと思っています。	いただきました消防体制の強化に関するご意見については、当該ビジョン本編p.68に記載していることから、今後、消防施策を進めていく上での参考にさせていただきます。

No.	視点	ご意見	ご意見に対する横浜市の見解
45	安全・安心	<p>・横浜の消防団、特に中区三消防団（加賀町、伊勢佐木、山手）に於ける切実な困り事は放水訓練を実施する場所がない事です。特にポンプを使用する訓練はエンジンが発する音も問題となりますので何処でも良いという訳にはいきません。</p> <p>放水訓練は日々継続して実施しませんが団員の消化能力が維持出来ず、火災現場への出動に不安を感じております。</p> <p>この度の「関内・関外地区活性化ビジョン」についての意見募集が良い機会と思い、一筆差し上げた次第です。思いますに山下埠頭の再開発に関してはカジノばかりが注目されていますが、市民への防災アピールにも一役買う消防訓練場所の設置をお願い出来れば幸いです。また可能であれば消防出張所が併設されれば市民防災の観点からも申し分ないと存じます。どうぞご一考頂ければ幸いです。</p>	<p>いただきました消防体制の強化に関するご意見については、当該ビジョン本編p.68に記載していることから、今後、消防施策を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>